

## 5704-0401 タングステン 微細パウダー

### 取扱説明書

#### 多様な用途に対応できる微細粉末状のタングステン合金

鉛よりもおよそ35%比重の重いタングステン合金を粒度400~500の微細な粉末としたことで、多様な方式のバランス調整が可能です。鉛粉に較べて高比重なため、より小さなスペースで調整出来る上、塊になったり、酸化することもなく、安全性や取扱いに優れています。作業時に、周囲にこびりついたり、残留物を残すこともありません。

ただし、多様な調整方式と、微調整が可能な反面、固形の鉛やタングステン樹脂製のチップウェイトに較べると手軽さには欠けるため、プロフェッショナル・DIY上級者向けとお考え下さい。



#### 警告

- 粉末が目に入らないよう、注意して下さい。万一、目に入った場合は流水で15分以上洗浄した後、医師の診断を受けて下さい。
- 使用時は、防護ゴーグル、防塵マスク、防護手袋等を着用して下さい。
- 撒き散らしたり、吸入することのないよう、取り扱いには、ご注意下さい。
- 使用後は必ず、手を洗浄して下さい。
- 体質によっては、長い時間、粉末が皮膚に触れていると、炎症等を引き起こすことがありますので、ご注意下さい。

#### 〔調整方法〕

##### ■シャフト内部への充填・・・必要な調整重量が大きい場合に

必要工具・用品: ラムロッド(#5650-0051)、コルク栓(スチールシャフト用)(#901B)

ヘッドとシャフトを接着した状態で、シャフトのバットエンドからパウダーを入れ、コルク栓等をラムロッドで押し込み、蓋をします。パウダー装填部内で遊びが出ないよう、シャフト内径に対して、コルク栓の外径調整が必要な場合があります。

##### ■ヘッド内部への充填・・・ヘッド重心位置を調整したい場合に

必要工具・用品: メタルウッドインナージェル(#8259-0001)

ホーゼル底部が塞がれていないヘッドや、螺子孔を備えているヘッドにおいては、インナージェルやグルー等に混ぜ込んで内部に注入し、その固着位置を調整することで、重心位置をコントロール可能です。重量増加部分がホーゼルだけに留まらないため、ヘッド性能の維持や、スイングウェイトやクラブMOIまで含めた調整を行う際にも有効です。グルー等の充填量に対して、パウダーが多過ぎたり、混合が不十分ですと、音鳴りの原因となりますので、ご注意下さい。

##### ■接着剤への混合・・・体裁良くスマートに調整したい場合に

必要工具・用品: 接着剤各種

ヘッドとシャフトの接着時に、接着剤に混ぜ入れることで、バランスを調整します。接着剤と粉末の比率としては、混合後の接着剤1gに対して、本品 1~2g以下の混合量として下さい。カーボンシャフトで、チップ内部にも装填する場合は、ヘッドのホーゼル深さ以内に収まるようにして下さい。ホーゼルよりも上部でシャフト内の接着剤が硬化した場合、シャフトのしなりを損ない、折損に繋がる場合があります。

#### 別売関連用品のご案内



ラムロッド  
(#5650-0051)



コルク栓(スチールシャフト用)  
(#901B)



メタルウッドインナージェル  
(#8259-0001)



接着剤 各種  
(6666-0011等)



タングステン樹脂  
チップウェイト  
(5704-0510)